

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

連絡先 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12
サンホワイトE103-13 (自宅) 個人メールは→



ホームページ ブログ



連絡は電話・
メッセージ
ーも可能です



インターン生と研修中

自然災害と自治体寄付金

昨年は大型台風の襲来で東北地方まで大災害が起きましたが、今年はまだ台風シーズンに入る前に、集中豪雨の影響で九州中・北部、あるいは中部地方などでも大災害が起きています。特に、熊本県を中心とする地域では、土砂崩れ、河川の氾濫によって多数の人が犠牲になり、また、数多くの家屋も押しつぶされたり、流出してしまうほどの悲惨な大水害となっています。



昨年の台風被害で訪れたところの一つ

なお、こうした災害には、ささやかに義援金や見舞金を今回も送らせていただきました。赤十字や放送局を通じて行う方法もありますが、実際に災害の現場、あるいは前線で復旧・復興に携わる自治体に送らせていただきました。自治体では、義援金を受ける口座を設定したものもあるし、一般の「ふるさと納税」の方法で寄付金を受け取るものもあります。後者の場合、議員は道義上、その寄付金控除や返礼品を受けることはできず、常々それらの請求手続きを放棄することになっています。*なお、コロナ対策の支援では、所属する会派「保守の会」全員で自ら購入し、取り寄せたマスク10万枚を相模原市に5月初旬に贈っています。議員は当該自治体に公選法上、寄付が禁止されています。

東京都のコロナ感染は収まるか

いったん収まりかけたコロナウイルス感染が、また再発し、予断を許さないレベルになってきました。いや、もう、十分にコロナ蔓延状態かもしれません。

東京都の問題では、まず、感染者数の発表が3日も遅れることにより解決の道が開かれたことです。これまでは、当該の検査した医療機関→保健所→東京都と順にファックスで送られ、それをまとめて(小池都知事の記者会見などで)発表されていました。それを、コロナ検査をした医療機関が国の記録システムに直接アクセスして、指定された情報が瞬時に反映される体制に変わることになりました。東京都は何でも先進的であるはずですが、意外なところで立ち遅れていました。

もう一つのコロナ感染拡大防止で見逃せないのは、感染者数の発表を東京都が管轄し、市区町村の住民が知るの、感染者数のみだけということです。当該自治体の感染者の発生はどのあたりか、どういう経過で伝わったかも知られずにいます。ただ、「都民は遠出をするな」、「連休も静かにしていなさい」では、人が納得して政治の要請を受け止めることはますます難しくなるでしょう。



今年こうした行事が全部取り止めです

★ 町田市議会の日程：7月21日臨時議会が開催し、記事の補正予算が成立。第3定例会の主な日程：告示・議案配布 8/20、一般質問通告締切 8/24、本会議提案・(請願受付締切) 8/27、議案説明会・全員協議会 8/28、一般質問 9/1-7、委員会 9-18、最終日表決 9/30

*コロナウイルス対策で、ただ今傍聴席の使用ができず、モニター視聴です。ご理解ください。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

交通文化都市◆インターンシップが定評

町田市議会

東京都町田市森野
2-2-22(〒194-8520)
☎042-724-2171
「保守の会」会派室
自宅:042-795-7361
yoshidaben@gmail.com



FAX:042-795-2726

国の第2次補正予算と町田市の7月補正予算の関係について

本年、国は新型コロナウイルス対策で2回目の補正予算を組みました。その予算の執行において、多くは各地方自治体が国から交付金を受けて様々の事業を執行することになります。町田市では、その国の予算編成にもとづき、3回目の臨時議会で7月補正予算を審議し、全会一致で可決しました。予算の早期執行を行政も議会も求めているためです。



芹が谷公園で親子が楽しく遊べるように

今回の補正予算による事業は、町田市の独自に手当てした歳入は一切もりこまず、国(2,512,809,000円)と東京都(105,673,000円)の支出金で全て構成されています。金額が大きな国の支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(20.4億円)とひとり親世帯臨時特別給付費支給事業補助金(4.2億円)で構成されています。地方創生交付金は、右記のキャッシュレス決済プレミアム事業や、中小事業家家賃補助事業(次号掲載予定)などに充てられます。また、一人親への給付金は、町田市で前回独自に支給したものに追加的に支給措置するものです。その所管は、子ども生活部になります。

町田市のキャッシュレス決済プレミアム事業と、国の事業

国の補正予算を使って、町田市が行う事業が、「キャッシュレス決済プレミアム事業」と名付けられた独自のスタイルの施策です。まず、国が直接行う事業は、マイナンバーカードを取得した方が、キャッシュレス決済サービスを使用した際に、最大5,000円のポイントが付与されるものです。2020年9月開始。

町田市が行うのは、国の予算を使ったものですが、町田市内の対象店舗でキャッシュレス決済(スマートフォンを利用したQRコード決済のみ、しかも町田市が今後決済業者を募集して、採用された1社のみが対象)した場合に、決済額の20%が付与されます。1回あたり付与上限1,000円/人、1カ月あたり付与上限10,000円/人とされています。実際に、このプレミアムポイントが付与される期間は、本年11月1日~12月31日とされます。

このポイントは、市民でなくても、町田市内の対象店舗で上記の決済を行えば、誰にでも付与されるのが特徴です。また、国のマイポイント事業の利用と併用することも可能になるのも特徴の一つです。担当:経済観光部になります。



◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、あるいは議員個人の判断で自由に賛否を決める場合もあります。

請願は町田市議会事務局に、要望・相談は保守の会に。個人情報規定に基づき厳守されます。